

## 編集後記

保険医協会は政治的な団体との偏見が未だに存在する。とくに年輩の方に甚だしいが一向に構わないではないか。見方によれば日医だって政治色豊かな団体なのだから。しかし本誌に与えられた課題が、この保険医協会の学術的レベルを引き上げることにあるとすれば責任は重大である。なぜならそれは上記の偏見を払拭することにもなるからである。

本誌にとって長年の懸案、それは年間複数回の刊行を実現することである。年1回の発行では誰も相手にしてくれない。大学に所属する先生方に寄稿、あるいは投稿を依頼しても無視される。最低、年2回、それも定期刊行を実現すること、これが学術誌として体裁を整えるうえでの最低条件であろう。

次に大切な課題、それは論文の質を、あるレベルに維持することである。編集後記子が、かつて外科医局に入ったとき、ある先輩から受けた叱責がいまだに耳の底に残っている。「話した言葉は宙に消え、聞いた方もすぐに忘れる。しかし書かれた文字はいつまでも残る。いい加減な論文を書くと、お前は、百年間、恥をかくことになるぞ!」と。自分の書いた文章に責任を持つとの意である。このような次第でときには失礼な加筆、修正、あるいは書き直しを編集委員会名で著者をお願いする場合がある。ご容赦のうえご協力を切にお願いする所以である。年間複数回の刊行を実現するには、会員諸兄からの投稿に期待する以外、方策はないが、投稿前には、十分な文献的考察、そして著者自身による再三再四の推敲をぜひともお願いしたい。〔高橋 英世〕

---

### 編集委員 (50音順 \*印委員長)

額田 協	池山 淳
高橋 英世	堀尾 仁

---

明日の臨床

Vol.15 No.1

2003年7月25日発行

編集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎ (052) 832-1345

制作 (株)東海共同印刷

---

頒価 1,000円・発行部数 6,900部